



発表会が近づいてきましたね。
発表会で上手く演奏する、悔いのない演奏する、達成感を感じられる演奏をするためにはどんな練習が必要なのか 3 つのポイントに
しぼってお話します。

発表会を成功させる練習はこれだ！

1. しっかり暗譜

2. しっかりメロディー

3. 本番のつもりで



1. しっかり暗譜

暗譜は楽譜を暗記して演奏すること。

どうやったら暗譜できますか？という質問にお答えします。
みなさんは校歌を何も見なくても歌えるよね。なぜ？
学校までの道は地図を見なくても迷わず行けるよね。なぜ？

校歌は何回も学校で歌っているうちにおぼえたよね。
毎日学校へ行くうちに道もおぼえたでしょう。
ピアノも同じ。何回も弾くうちにおぼえられます。

暗譜するために何回もたくさん練習するから、自信を持って発表会で弾けるね！

2. しっかりメロディー

ということ？

上手な演奏、感動的な演奏ってどんな演奏でしょうか？

暗譜ができて、まちがえないで弾けることだけが上手な演奏じゃないよ。
音楽は美しく演奏することが大切！美しい演奏は聞いていて心地よい。

メロディーがよく聞こえるようにメロディー以外の音の大きさを考えて弾きましょう。

3. 本番のつもりで

本番のための練習をしよう。

練習中は「練習だから間違ってもだいじょうぶ、失敗してもだいじょうぶ」と思って練習していませんか？

本番は「間違えないぞ、失敗しないぞ」と思って演奏しますよね。

本番の時だけ「間違えないぞ、失敗しないぞ」と思っても、脳や体は練習中に「間違ってもだいじょうぶ、失敗してもだいじょうぶ」ということに慣れてしまっていますから急に「間違えないぞ、失敗しないぞ」ということは脳も体も無理、無理。
スポーツ選手が試合前に「練習の通りにやればだいじょうぶ、勝てる」という話をしていますが、ピアノも同じ。

スポーツ選手は試合と同じ練習をしているのです。

ピアノも本番のつもりで「間違えないぞ、失敗しないぞ」と練習をしましょう。

ペダルを使用する方へ

発表会の2週間くらい前になったら、本番ではく靴をはいて練習をしましょう。
普段は足の裏が直接ペダルに触れていますが、靴底でペダルを踏む感触に慣れましょう。
もちろんレッスンにも持って来てくださいね。



レスナーIのコーヒーブレイク(I先生のつばやき)

10月に開催された「ショパンコンクール」。5年に一度、ショパンの祖国ポーランドのワルシャワという都市で20日間にわたり開催される100年の歴史をもつコンクールです。
入賞すれば一流ピアニストとして世界に認められます。今年の優勝はアメリカ人のエリック・ルーさん。日本人は4位の桑原志織さん、9位の進藤実優さんが入賞。
ショパンコンクールでは出場するピアニストが、自分が使いたいピアノを世界的に有名なメーカー5台の中から選びます。アメリカのスタインウェイ、ドイツのベヒシュタイン、イタリアのファツィオリ、日本のカワイとヤマハ。世界的に有名なメーカーとして日本から2社選ばれています。すごいですね。

ちなみに発表会会場のピアノはベヒシュタイン社のピアノです。さあ！あなたもピアニストになったつもりで発表会では一生懸命、すてきな演奏をしましょう。